

風岡 淳一 会員

ご無沙汰しておりますが、体調は良好です。仕事はコロナ禍においても大きな変化はありません。もともとこの時期は繁忙期なのですが、昨年4月から新しい仕事を始めたこともあり、最近例会に参加できないことがたまにあります。今まで事務所はパートが1人と私の2人でしたが、新しい仕事に対応するため昨年4月から正社員を雇用し、3人体制となりました。大きな変化もなく仕事ができることに感謝をしながら、1件1件手を抜かず地道に作業を進めてまいりたいと思っております。



永井 博 会員

1. RCにおいて
会員増強委員として、斯様な状況下もあり使命が果たせていないことが最大の悩みです。

引き続き努力していくが、皆様にも是非会員増強に向けてお声掛けをお願いしたいです。

2. 仕事について

不要不急だけど訪問する、電話する、雑談する、遊ぶ(飲む)、そういった営業活動の中で仕事も生まれてくるのですが、なかなか厳しい状況です。しかし、斯様な経済状況下であるからこそ保険財務の活用は企業において有用であること、お客様にご案内していく所存です。

世界的な金融緩和の中で、景気とは正反対の株価高騰や投機商品へのマネー流入という現状で、また何時期リーマンショックの様な大暴落が起こるとも限りません。ですので、企業様も個人においても内部留保を厚くしておく必要があります。

そんな中でどんな経済状況に陥っても目減りすることのない安定資産づくりの一端で我々の商品の活用意義は極めて大きいです。

今後も一物で四価とも五価にもなる生命保険の活用の仕組みについて地道に説いて参りたいと思っております。



松本 有祐 会員

身近にコロナ感染者はいなかったのですが、なんと自分が感染してしまいました。

1月13日に39.6度の発熱があり、悪寒と節々の痛みが辛かったです。

1月23日には隔離のホテルから退所しましたが、家族が家から出られなくなり、受験生の息子は入学試験を受けられなくなるなど、大変な影響をだしてしまいました。



弊社は映像制作の会社で、2019年度、61%は婚礼の映像からの売上でした。コロナ禍で案件は減り、2019年に401件あった施工が2020年には226件に減りました。キャンセルも85件あり、売上に大きな影響がありました。そんな売上に多大な影響がある中、大宮西ロータリークラブの諸先輩であるサイポウ様、ユウキテクノス様、ネクスト様は映像制作案件をご発注くださりました。

ロックダウンとなった2020年4月、延期やキャンセルの連絡が相次ぐときに、「まっちゃん、CM作って!」とお電話くださったユウキテクノスの竹内さんの声はまさに神でした。大宮西ロータリークラブに入っていて本当によかったです。みなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

また、身近には、コロナで売上が厳しい環境に屈している会社さんばかりでなく、たとえば、巣ごもり需要で前年対比100%の売上を達成している友人の絵を売る会社や、岩槻ロータリーに所属されるイベント会社さんは消毒清掃業を新たに起業するなど、コロナに負けない努力をされている会社さんが何社もあります。自分も負けずに努力している結果、コロナ対策の補助金利用を提案する映像制作をしています。

現在、8案件が制作に入っており、大江戸たますだれの教則映像は面白い例です。他にもあと29社の採択待ちがあり、がんばっております。

3月以降に申請対象となる大型の補助金があり、少しでも皆様のお役に立てるよう精進しております。

石澤 孝幸 会員

蓮田市で土木建設業をしています、石澤建設興業です。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、

様々な影響が出ております。弊社でも働き方が変わりつつあり、先の見えない不安を感じております。今回の様な企画をしていただきましたことを大変嬉しく思います。ぜひ会員の皆様にご教示いただけますと幸いです。

昨年より、工事の中止・延期、県外へ行きづらい、建築資材の納品遅延など影響が出ております。昨年の第二波・第三波までは影響を感じられませんでした。今年になってからは仕事・受注数は変わらないものの、売上げが低下してきました。各現場が通常通りに施工できないため予算の削減など支障をきたしております。

現場ごとの調査や打ち合わせポイントが、以前のようなスケジュールが組めないため進捗しません。元受け業者・取引先の在宅業務が多くなったため業務に関わる各種書類作成・庁舎手続きを承ることが増え仕事量を圧迫しております。

弊社も在宅でできる作業は事務所でできるように新たな設備を導入いたしました。今後は電子化できることは積極的にしていきたいと思っております。しかしながら電子化できない現場作業が主となる業種ですので、非常に困惑しております。

最近では工事代金の値下げを毎回言われるようになりました。私としても安くしても仕事を取りたいことに、一抹の不安を感じております。

今年度はコロナ対策に予算を使われ、予定していた公共工事が自紙となると思っています。民間工事にも影響が懸念されます。

いつまで続くかわからないコロナ禍で、全体の景気

